

青葉の森公園芸術文化ホール イベントレポート

当ホール主催の公演・講座の雰囲気
をみなさまに発信する、
「サポーターライターズ」の方による
レポートをお届けします。

平成30年度県民芸術劇場公演 千葉交響楽団メンバーによる 木管五重奏

出演 千葉交響楽団 (フルート：吉岡次郎、
オーボエ：大庭蓉子、クラリネット：伊藤めぐみ、
ファゴット：青木直之、ホルン：大森啓史)

平成30年
7月8日
[日]
開演 13:00

フ

フルート、オーボエ、
クラリネット、ファ
ゴット、ホルンによる

木管五重奏のコンサートに出
かけた。梅雨明けの酷暑が続
いていたが、そんな暑さをいつ
とき忘れさせてくれる、オア
シスのような演奏会であった。

エルガーの「愛の挨拶」に始
まり、「白鳥の湖」、「アルルの
女」、「サンタ・ルチア」、「ロンド
ンデリーの歌」、「デイズニーマド
レ」、等どれも一度は聴いたこと
のある親しみやすい選曲。しか
も、各々の楽器の特徴を引き
出すようなアレンジで楽しめた。

ひとの吹く息から紡ぎだされ
る音だからだろうか、全体的
に優しい響きが心地よかった。

演奏の合間にそれぞれの楽
器について詳しく説明するコー
ナーがあり、私も、にわか楽
器博士になった気分になった。

例えば、オーボエとクラリネッ
トは似ているが、音を出すし
くみが違う。オーボエは2枚の
葦を使ったダブルリードで、自
分で削って整えるそうだ。クラ

リネットは1枚のシングルリー
ド、そしてA管(あーかん)
とB管(べーかん)の2種
類があり、曲によって使い分け
ているそうだ。フルートは、穴
の中に半分、外に半分息が入

ることによって音が出る。その
原理で吹けば、ちくわでもネ
ギでも音が出るそうだが、一体
どんな音が出るのだろうか？

落ち着いた美しい声の中里
かおりさんの司会もよかった。
演奏曲や楽器について、とても
わかりやすく説明してくれた。

演奏者は皆、千葉交響楽団
に所属している。前身はニュー
フィルハーモニーオーケストラ千
葉で、千葉県唯一のプロオーケス
トラとして1985年に設立

された。「おらがまちのオーケス
トラ」(音楽監督の山下史氏の
言葉)を指して、2016

年に現在の名称となった。定期
演奏会の他に、親子コンサート、
学校への出張音楽鑑賞教室、ア
マチュアへの演奏指導など、地

元でクラシック音楽を広げ育て
る様々な活動を展開している。
今回も演奏会のあとにメン
バーによる楽器クリニックが予

定されており、それに参加す
るとおぼろしき吹奏楽部の中高
校生も多くみられた。

アンコール曲は「花は咲く」
であった。折しも西日本豪雨
の直後のことであり、皆の胸に
は被災地への祈りの気持ちがあ

り、沸き起こっていたのではないだ
ろうか。
サポーター(ライターズ)伊藤正子

少

し前に、テレビドラ
マ『カルテット』が
話題になりました。

実力派俳優4人が扮する人物
が、弦楽四重奏を組んで繰り
広げる人間模様はとても面白
く、演奏シーンも素敵でした。

一方、本日の公演は『木管五
重奏』。実際に耳にするのはこ
れが初めてでした。途中、演
奏者による楽器の解説があり、

フルート、オーボエ、ホルン、ファ
ゴット、クラリネットの5つの楽
器は、音の出し方、楽器の材
質など「バラバラ」であるとの
お話がありました。

確かに、弦楽四重奏のよう
に、弦の響きが溶け合う心地

よさとは異なり、金管○重奏
のような、パンチの効いた音が
重なり合うものではないが、そ
れぞれにやわらかな音のする楽
器の個々の音色が、ほどよく主
張して曲が成り立っています。

今回、私が最もいいなと感
じた曲は、『薔薇は美しく散る』
(テレビアニメ『ベルサイユのばら』
のオープニング主題歌)でした。

Aメロ、Bメロ、サビと展開し
ていくことに主旋律を担当する
楽器が自然に交代していき、全
体を通して憂いを帯びた曲調が

切なく、アニメーション映像が目
に浮かんでくるようでした。

演奏会の終了後は、出演者
による楽器クリニックが行われ
ました。プロの演奏家によるレッ
スンが安価で受けられるのです。

もの珍しさからファゴットの部
屋を見学させてもらいました。
和やかにファゴット談義や技術
指導が進みます。

吹奏楽部の顧問の先生でファ
ゴットを吹ける方はほとんどい
ないそうで、受講生の口からは
色々悩みが訴えられました。

生徒…「この音、うまく出
せなくて…」
講師…「その音は、音大生
でも出すのは難しいんだよ」

生徒…「もっと音量を出す
ようにって、顧問の先生に言わ

れるんですけど…」
講師…「ファゴットは『彩り』
だから、本来、音量を求めら
れる楽器ではないんだよ」

同じ楽器を操る同志として
の理解がここにはあり、絆さ
え感じられます。千葉県内に
ファゴット吹きって一体、何人く
らい存在するのでしょうか？きつ

と、希有な存在でしょうね。
また、珍しそうに楽器を
眺める私に、「左手の親指1
本で10個のキーを操るんです
よ」「替え指もいろいろあつて、
運指を覚えるのが大変なんで
す!」「息を吹き切るのが大
変で、そこが苦しいんです!」

と、教えていただきました。
演奏会も楽器クリニックも、
青葉の森公園芸術文化ホールが
提唱する「ちばイズム」の環と
して、「千葉県の良いところをみ
んなに知ってもらおう」という狙
いを込めて企画されたとのこと。

千葉交響楽団のメンバーの演
奏に酔いしれた後、そのプロ演
奏家が千葉で音楽を学ぶ若者
らにレクチャーする機会を設け
てくれるとは、本当に有難い
です。是非とも永く続いていっ
て欲しいです。ここから世界に
羽ばたく演奏家が、いつか現れ
ますように。

サポーター(ライターズ)錦織久美子



写真/サポーター(カメラマン)田邊 定行